



## 対訳 【 楠山正雄 訳 】

- Act
  - [Page1](#)
  - [Page2](#)
  - [Page3](#)
  - [Page4](#)

## アリアヘジャンプ！

- [一人ぼっちだ。ああほんとうに一人ぼっちだ。](#)
- [見なれない人だね。お前は何の用があるの。](#)
- [エレクトラ、ねえさま、わたしと一緒においでなさい。](#)

## 全曲（動画対訳）

[大画面はこちら](#)

## 管理人より

- 対訳は [ベーム盤](#) のカット箇所をグレーの文字色で表示しています
- アリアヘジャンプ！は [ライナー盤](#) の抜粋箇所へ飛びます

## mp3

- [エレクトラ（全曲）](#) 📻
- [エレクトラ（抜粋）](#) 📻

## エレクトラのモノローグ（動画対訳）

[大画面はこちら](#)  
[mp3・動画について@広報室](#)

## 資料

- [あらすじ@オペラ座の怪人が見たい！](#)
- [スコア@IMSLP](#)
- [エレクトラ@ウィキペディア](#)

## 楠山正雄訳について

- [楠山正雄](#) の著作権保護期間は2000年12月31日で終了しています。
- 底本はこちら所収のフーゴ・フォン・ホフマンスタール「エレクトラ」を使用しました。  
「近代劇大系第7巻」（近代劇大系刊行会：大正14年9月）  
「世界戯曲全集第20巻」（近代社：昭和3年2月）
- 「エレクトラ」オペラ化にあたってホフマンスタールは（おそらくリヒャルト・シュトラウスの求めに応じて）、オリジナルの「エレクトラ」戯曲版に対して、章句の削除や前後の入れ替えを行っています。楠山訳に同様の変更を加えました。

- また、ホフマンスタールは「エレクトラ」終盤にかなりの加筆をしています。底本はオリジナルの「エレクトラ」戯曲版を翻訳したもののなので、リブレット対訳を制作するためには楠山訳には欠落している部分を埋める必要がありました。欠落部分は **オレンジ色** で表記し拙訳をあてました。翻訳エンジンで英訳したものを日本語に重訳しています。そのためたくさん誤訳が残っている可能性があります。オレンジ色部分についてドイツ語に通じている方の修正を期待しています。いたずら防止のため「メンバーのみ編集可」の状態になっています。[メンバー登録](#)（自動承認）のあと修正をお願いします。楠山訳部分も含め訳し直したいという場合、[こちらの](#)テンプレートをご利用ください。
- 旧仮名遣いの多くは現代仮名遣いに改めました。現代とは異なる用法の送りがなは多くは、現代人にも読解可能と思われる限り、原文のままとしました。当用漢字表にない漢字も同様に、読解可能と思われる限り、原文のままとしました。
- いくつかの文言を改編しました。

[制作メモ@広報室](#)

## Blogs on エレクトラ

- [東京都世田谷区の評判 山本クリニックの毎日の日記帳平 ...](#)
- [\[映画-カ行\]まさに我が身を焦がした女の一生『灼熱の魂』](#)
- [\[etc\]R. シュトラウスの「エレクトラ」と蜷川幸雄&音羽屋の ...](#)
- [ゲオロク・ショルティ（指揮）：ヨーロッパ室内管、シカゴ響 ...](#)
- [1341- マーラー4番、読響、上岡2012.1.25](#)
- [祝！デアゴスティーニ「DVDオペラコレクション」完結！](#)
- [\[クラシック\]R・シュトラウス「エレクトラ」](#)
- [オペラを聴こう](#)
- [Elektra conducted by Christian Thielemann first time TV ...](#)
- [12-05 No.1-2](#)

[ブログをもっと読む](#)

## エレクトラとは

- エレクトラの84%は月の光で出来ています。
- エレクトラの8%は祝福で出来ています。
- エレクトラの7%は小麦粉で出来ています。
- エレクトラの1%は鉄の意志で出来ています。

